

中国木材市場動向トピックス

1. ニュージーランドでは、4月にサイクロン・デビー（Cyclone Debbie）に続き、過去50年で最大の台風とされるサイクロンクック（Cyclone Cook）が発生した。原木生産への影響を受け、中国向けのラジアタパイン原木の輸出は一時減少となると見られる。また、専門家らは、中国航路の配船がタイトとなっているため、運賃の値上がりが必至であろうと指摘している。
2. 中国の木材関係有識者は、ルーブル高によるコスト増、厳しい環境管理検査・指導を受けた中国国内工場の木材調達の控えによるロシア材等輸入木材の在庫増、これまで発注したロシア材の集中的な入港などにより、5月におけるロシア材の埠頭価格の下落は避けられないと指摘している。
3. ベトナムの中部、南部でゴムの木、アカシアなどの木材を調達し自国に輸出している中国企業（現地法人各の中国資本企業を含む）は増えている。この影響を受け、ベトナム国内のゴムの木などの価格は10-20%上昇し、現地企業による木材の調達が困難になっている。同国の木材関係団体は政府に対し、対応策を求めている。
4. 木材関係国有企業を主とする中国の一部企業は、ラジアタパイン原木、ロシア原木・製材品、北米西海岸産製材品の供給不足の補充や代替の木材として、割安のベラルーシ・ウクライナ産製材品、ブラジル・ウルグアイ産テーダマツ材、米国産サザンパイン材、日本産材の調達拡大に取り組んでいる。
5. 2016年、米国産広葉樹材の東南アジア及び中国向け輸出は広葉樹材輸出全体の55.2%を占める19.3億米ドルにのぼり、前年比19%増加した。うち、

中国向け輸出額は 16 億米ドルに達しており、広葉樹の製材品、原木の輸出額はそれぞれ 11.9 億米ドル（前年比 24%増）、4.04 億米ドル（同 32%増）となっている。米国の広葉樹製材品、原木の輸出額に占める中国向けの割合は、それぞれ 52.8%、56.4%にのぼる。米国広葉樹輸出協会は、重点市場としてこれまでの広州、上海、天津に加え、青島、成都、南寧、重慶に向けて販路開拓に取り組んでいる。

6. 江蘇省鎮江検査検疫局は 5 月 6 日、入港したスギ原木（5,354 本、2,580 m³、3,900 万円）（貨物船「XIN HAI 98」）に対する検査検疫の手続を完了した。地元筋によると、今回入港したスギ原木は同港開港以来の初めてのことで、木質梱包資材などとして利用されるようである。
7. 広西桂福林木業有限公司によるフローリング製造工場（年間生産 4 万 m³）の着工式は 4 月 11 日、広西自治区崇左市にある中国—タイ産業パークで行われた。
8. スウェーデン木材協会は、製材企業 10 社を率いて「中国広州国際家具生産設備・材料展覧会」（会期：3 月 28-31 日）に出展し、中国のバイヤーに向けて展示品のプロモーションを行い、自国産アカマツ、ホワイトウッドの木材性能、用途、輸入ルート、価格などについての情報を提供した。
9. 欽州保税港に入港した輸入木材は、2016 年に 95.87 万 m³にのぼり、広西自治区の輸入木材の 99%を占める。入港した輸入木材は、主にオーストラリアからのラジアタパインや日本からのスギである。